

錬成会における新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン

本ガイドラインは、新型コロナウイルス対策に関するスポーツ庁、日本バレーボール協会から示された大会運営の指針や感染症対策専門家会議での状況分析や提言を踏まえて、バレーボール競技（インドア）における大会参加に当たっての基準と大会開催時における感染拡大予防のための留意点について、錬成会事務局（山口県バレーボール協会中学校連盟）が参加者に協力をお願いする運営指針です。

ぜひ、本ガイドラインを遵守していただき、選手のため円滑な錬成会運営に協力してください。また、参加者の安全を確保するため、本ガイドラインを遵守できない場合には、退館を求めることがありますのでご了承ください。

本錬成会にご参加いただく全ての皆様へ

この度の錬成会は、山口県バレーボール協会中学生連盟の活動であり、中学校体育連盟主催ではありません。保護者の方のご判断での参加となりますが、学校やご家族など諸事情に忘れて無理のないようにお願いします。

けがなどの際も、各個人の責任となりますので、ご了承ください。

ご参加いただき、選手・ご家族・指導者の皆様や各中学校、ご指導いただく誠英高校の皆様にとって、ご迷惑がかからないように開催できることを第一に考えております。

まだまだ、緊張状態にある中ですので、ギリギリになって中止という判断に至ることもあると思いますが、活動の場を提供できるように最大限のコロナウイルスやインフルエンザ対策を進めていきます。ご理解とご協力をお願いします。

次項からの感染症対策ガイドラインをご確認ください。また、引き続き、こちらのHPもご確認くださいませようお願いします。

山口県バレーボール協会中学生連盟
理事長 神田哲宏（山口市立平川中学校）

1 基本的な感染防止対策の徹底

(1) 健康観察

- 選手等の健康観察については、家庭や会場で風邪症状がないかなどの健康状況を確認する。
発熱等の症状が見られるときは、無理に参加をせず自宅で休養するよう指導する。
- 選手等の健康観察については、錬成会2週間前の体調（体温、状況）を「健康チェック票」に記入し、当日の受付で提出する。
- 当日の受付時にも検温を行う。

【確認事項】

- ・①風邪の症状や37.5℃以上の発熱が続いている場合、②強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合、特に、基礎疾患等のある選手等は、①②の状態が2日程度続く場合は、医療機関に電話連絡し、指示に従うよう促す。
- ・選手、指導者及びその家族に、新型コロナウイルス感染症等が疑われる症状が出た場合、各学校に報告するとともに、保健所にも早急に相談するよう周知しておく。

(2) 手洗い・咳エチケット

- 外から会場等に入る前、トイレや休憩の前後に加え、共用の用具（ボール等）使用後には、選手等に対し流水と石けんで手洗い、または、手指消毒を行うよう指導を徹底する。
- 咳エチケット
（①マスクの着用、②ハンカチ等で口・鼻を覆う、③袖口で口、鼻を覆う）を徹底する。
- 集団感染のリスクを避けるため、特に屋内では、不必要な会話を避け、近距離での会話や発声が必要な場面では、可能な限りマスクを着用するよう指導する。

(3) フロアなどの環境・換気

- 感染防止の「3つの密」（換気の悪い密閉空間、多くの人が密集、密接な近距離での会話や発声）が重なる場を極力つくらない。
- 可能な限り、荷物の管理や更衣の場所など1メートル以上の距離をとる。
- 会場等は、必要に応じて施設担当者と相談し、可能な限り1時間に1回（5～10分）程度換気する。
- 出入り口を開けておいたり、換気扇を用いたりして、十分な換気に努めるとともに、使用時には人の密度が高くなるよう配慮する。
- 選手は2階観覧席で荷物を管理する。その際に座席の間隔を2席以上空けて荷物を置く。

(4) 施設や用具の消毒等

- 選手等が特に多く手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチ、ボール、ラインフラッグなど）は、定期的に消毒液（次亜塩素酸ナトリウム希釈液や消毒用エタノール等）を利用して清掃を行う。

【次亜塩素酸ナトリウム希釈液の使用及び保管の際の注意事項】

- 使用する漂白剤の注意事項をよく読み、使用する際は十分換気をする。
- 使用の際は必ずゴム手袋等を装着し、手指消毒等には絶対に使用しない。
- 次亜塩素酸ナトリウム希釈液を使用した消毒の後は、水拭きを行う。
- 商品により塩素濃度が異なるので、表示などを確認する。
- ペットボトルで保管するときは、誤飲しないよう、容器に目立つように薬品名や濃度を記入する。
- 保存の際は、直射日光の当たらない場所で保管する。

2 錬成会参加における感染防止対策の徹底

(1) 錬成会の参加募集 ～ 錬成会当日（受付）の対応

錬成会参加者は感染拡大防止のための措置として、錬成会に参加するに当たって以下の項目について確認してください。

マスクを持参すること。選手、指導者も指示のあるとき以外ではマスクを着用すること。
(着替えやフロア外での活動など競技を行っていないときにはマスクを必ず着用する)

こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施すること。

『令和2年度県バレーボール協会中高生交流錬成会 健康チェック票』を受付で提出すること。

保護者は入館しない。申し訳ございません。

他の参加者、選手同士、指導者選手間等との距離を確保すること。

参加者持参物として、ゴミ持ち帰り用ビニール袋、予備のマスクも準備する。

感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。

以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせてください。

- 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(2) 錬成会当日（受付）～ 活動中の対応

○ 式典関係における留意事項

開講式・閉講式は簡略化して行う。

ソーシャルディスタンスを保って、整列などを配慮する。

○活動中における留意事項

- 活動中においても、極力3つの密を避ける。
- マスクを常備しておき、指示のあるとき以外はマスクを着用する。（マスクを着けてできる活動も予定されています。）
- タオル、水ボトル、アイシングバッグなどの共用をしない。
- ボールはできるだけ複数個用意し、こまめに消毒・清掃を行って交換しながら使用する。
- 笛等（私物）についても、共有は禁止し、唾液の付いた状態での放置を避けるなど、不慮の接触防止に留意する。

○トイレ、会場の使用上の留意事項

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する。
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すようする。
- 手洗いは30秒以上するように指導する。
- 手をふく際にはマイタオルを使用するようにする。施設の備え付けのもの、他人のタオル等は使用しない。
- 手洗い後は、アルコール等の手指消毒剤をすることが望ましい。
- ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒する。
- 会場に備え付けの冷水機などの備品は使用しない。
- 会場等は、必要に応じて施設担当者と相談し、可能な限り1時間に1回（5～10分）程度換気する。
- 各自のゴミは各自で確実に持ち帰る。特に、汗や鼻水、唾液などが付いたゴミや使用済のテーパーリングなどは、ビニール袋に入れ密閉して持ち帰る。また、作業後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指を消毒すること。

(3) 競技中 ～ 錬成会終了後の対応

- 会場からの解散時は、随時解散をコントロールし、密集状態がないように促し、必要以上の会話を行わないように各自で徹底する。
- 錬成会終了後も引き続き、選手の健康観察を行う。（各自での健康観察でよい。）
- 錬成会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに状況（氏名、症状、行動の履歴など）について報告すること。

3 感染者が発生した場合の対応計画（例）

感染者が発生した場合には、各学校の示すガイドラインの対応例等を参考にしながら、各自の実情に応じて、感染者発生時の対応をする。また、その旨を別紙「新型コロナウイルスに係る情報整理」に記入し、錬成会事務局（山口市立 平川中学校 神田哲宏 宛）に送付し報告する。

別紙

No. ()

新型コロナウイルス感染に係る情報整理 (月 日 時 分)

項目	内容
氏名	(選手の場合: 市立 中学校 年生) 住所: 電話番号:
感染発覚の経緯	
家族構成	
最近の行動記録	■学校内の状況 ■学校外の状況 ■大会当日の様子
その他	